

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	TOTO小倉第二工場新E棟(仮称)	階数	地上3F
建設地	福岡県北九州市小倉南区朽網東5丁目1-1	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,370 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,808 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2016年1月6日
敷地面積	130,000 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社大林組
建築面積	23,124 m <sup>2</sup>	確認日	2016年1月18日
延床面積	63,729 m <sup>2</sup>	確認者	清沢 唯志



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.5</b> ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> <span style="float: right;">Q のスコア = 3.0</span></p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> <span style="float: right;">Q1のスコア = 3.3</span></p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> <span style="float: right;">Q2のスコア = 3.4</span></p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> <span style="float: right;">Q3のスコア = 2.4</span></p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> <span style="float: right;">LR のスコア = 3.6</span></p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> <span style="float: right;">LR1のスコア = 4.2</span></p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> <span style="float: right;">LR2のスコア = 3.0</span></p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> <span style="float: right;">LR3のスコア = 3.4</span></p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>建物内部は利用者の健康・快適さ、外部は環境配慮を重視した設計になっている。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>特になし</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>高い外皮性能、昼光率、自然換気性能を有し、利用者の健康・快適さに配慮した計画を行っている。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>階高3.9m以上、天高2.9m以上により、開放感および空間にゆとりのある計画となっている。また、耐用年数の長い部材を採用している。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>敷地内の緑化により、緑量の確保および暑熱環境の緩和に努めている。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>LED照明器具採用による消費電力の低減に努めている。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>節水器具の採用による資源の浪費を抑えている。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>広告物照明の光の性質および省エネに関する配慮がなされ、光害の抑制に努めている。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される